

## 日本薬学会物理系薬学部会主催 各シンポジウムでの表彰一覧(2021年度)

2021年度の各受賞は次の通りです(順不同、敬称略)。

### 第33回バイオメディカル分析科学シンポジウム

#### ・『星野賞 研究奨励賞』

梅野 智大:グアニジノ基を有する蛍光分子によるメタノール選択的蛍光検出法の開発

#### ・『星野賞 優秀発表賞』

北條 泰成:抗体医薬 Nivolumab に対する高親和性 DNA アプタマーの効率的な探索と獲得したアプタマーの結合能評価

宮崎 風香:小分子リガンドを用いた光免疫療法薬剤における細胞傷害性および光化学反応の解析

### 第30回金属の関与する生体関連反応シンポジウム

#### ・講演賞

加藤 俊介:Cp\*Rh(III)錯体を活性中心に有する人工金属酵素の指向性進化:

芳香族 C-H 結合活性化を経由する付加環化反応への応用

五十嵐 樹:アルデヒド脱ホルミル化オキシゲナーゼ(cADO)の反応性を志向した三座型アルキルアミノ鉄錯体による酸化反応

#### ・ポスター賞

中原 寛樹:多数の Cu,Zn-SOD 活性サイトを有するナノザイムの開発

鈴木 崇:Ni(II)、Cu(II)-フェノレート錯体と酸素分子との反応によるフェノキシラジカル錯体の生成と生成機構の解明

津金 聖和:弱い相互作用によるシュウドアズリンの構造安定性と変性状態の変化

### 第18回次世代を担う若手のためのフィジカルファーマフォーラム

#### ・質問賞

多田 百合絵、赤坂 貴浩、甘中 健登

#### ・優秀発表賞

##### <部門1(学部・修士)>

山田 有菜:化学修飾アミロイドβの凝集能評価

笹島 百華:がんセラノスティクスを目的とした放射標識超音波応答性ナノ液滴の開発

多田 百合絵:電子伝達機構解明を目指した CYP 還元酵素変異体ライブラリの構築

##### <部門2(博士・教員)>

生野 雄大:実環境中のマイクロプラスチックの生体影響評価の基盤構築

中家 真理:脳内異常型プリオンタンパク質凝集体の特異的 in vivo イメージングを目的とした

ベンゾフラニルクロモン誘導体の開発

渡辺 朗:ミトコンドリアカルシウムイオンチャネルを構成するコアサブユニットタンパク質の定量解析

### 第42回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

#### ・優秀発表賞(口頭発表)

中西 浩太郎:光駆動性アニオン輸送体(SyHR)が示すリン酸輸送能と大腸菌べん毛運動の光操作への適用

角 友登:生細胞膜中で形成されるアミロイドβタンパク質線維の構造解析

土井瑞貴:組織間の免疫抑制クロストークを標的としたがん免疫療法の提唱

小吹桃子:サポリン毒素の細胞膜透過機序の解明と膜透過ペプチドの開発

#### ・優秀発表賞(ポスター発表)

奥田健斗:mRNA ワクチンへの応用を目指した脂質ナノ粒子の粒子径制御技術の確立